

第 29 回馬路おしどりマラソン大会

(株)第一コンサルタンツ 右城 猛

「馬路おしどりマラソン大会」に初めて参加した。毎年9月第3日曜日に開催されている。

馬路村は高知市から65km、車で1.5時間の距離。「ごっくん馬路村」や「ぼん酢しょう油ゆずの村」などのヒット商品を次々に生み出している日本一元気な人口約1000人の小さな村。

今年は29回目。全国から123組、246名が参加した。3キロメートルの部と5キロメートルの部があり、私たちは92組が参加した3キロメートルの部を選んだ。最高齢は夫婦足して155歳。私たちと同じ110歳代が29組で最も多かった。

マラソンのルールは、夫婦で参加して、手をつないでゴールすること。参加費は夫婦で5000円。



123組246人の走者が「コミュニティセンターうまじ」の広場に集合。



気合い十分の兼清夫妻と家内



日頃の練習の成果をだせるか心配



9時30分より開会式。実行委員長による開会宣言に続いて、大会会長である上治堂司馬路村長による挨拶。



北海道から参加された高橋正憲・史織夫妻による選手宣誓。



全員で念入りに準備体操



衆議院議員の中谷元・美弥子夫妻がゴールイン。中谷先生は10月18日の室戸岬健康マラソン大会にも参加されるとのこと。



10時、上治大会長のピストルの合図で全員が一斉にコミュニティーセンターうまじをスタート。安田川の右岸側の道路を下流側に走り、約1km地点の馬路橋から左岸側の道路に出て、上流側に走って落合橋から再び右岸側の道路へ出てコミュニティーセンターまで引き返す。

いつもの練習はスロージョギングなので、そのペースで走るつもりであったが、無意識のうちにペースを上げすぎたようである。呼吸が乱れて、1km地点を随分と遠く感じた。1km~2kmは坂道になっていたの胸が苦しくなり、家内の後を遅れないようについて行くのがやっとであった。

沿道の村民の皆さんから声援を受けて元気がでた。落合橋を渡った地点には、私たちを応援するため清岡さん夫妻が待っていてくれた。

私たちは27位の19分38秒でゴールイン。1kmを6分33秒で走った計算。普段は、1kmを8分(4kmを30分)で走っているの、この記録に大満足。



兼清英則・芳子夫妻は第21位の18分58秒でゴールイン。



ゴールインすると、実行委員の方が「第29回馬路おしどりマラソン大会完走賞」と書かれた金メダルを首にかけてくれた。好タイムが出せたのは馬路村の皆さんの心がこもった温かい声援のお陰。



中谷元・美弥子夫妻を囲んで記念撮影。中谷先生は防衛庁長官のときも参加され、その時にはSPも付いて一緒に走られたそうである。中谷元先生は馬路村の皆さんから本当に慕われているのだということを感じた。



10時50分より表彰式。5年連続、10年連続、15年連続、25年連続参加者、第1位、第2位、中間賞、その他とび賞、最年長者、最年少者、ア

ラスカから参加された方、北海道から参加された方などたくさんの特別賞が用意されていた。

3kmコースで第1位の太田紀亀・芳子さんのタイムは13分43秒。1キロを4分34秒。

夫婦合わせて155歳の寺岡浅一(78)・愛子(77)さん(安芸市)のタイムは28分20秒。この夫婦がすごいのは、タイムもさることながら連続27回参加。夫婦そろって健康で、しかも仲が良くないとこの記録は達成できない。素晴らしい。



ゴール後に弁当、ドリンクスーパーごっくん、温泉の入浴券、それに参加賞が入った袋を頂いた。家に帰って袋を開けてビックリ。魚梁瀬杉で作られた高級菓子盆、間伐材のうちわ、コースター、ユズ玉、入浴剤、それにぼん酢しょうゆゆずの村、ごっくん馬路村、柚子ジャム、ゆずゼリー、タオルが入っていた。

馬路村の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



手をつないで走るおしどりマラソンの参加者 馬路村馬路

手をとり夫婦仲よく馬路おしどりマラソン

夫婦が手を取り合って走る恒例の「馬路おしどりマラソン大会」が20日、馬路村馬路で開かれた。北海道や東京などからも参加があり、総勢123組が、仲むつまじく初秋の山里をかけた。

末永く夫婦円満に、お互い健康であることを喜び合っていると始まった大会は今年で29回目、初秋の馬路の風物詩になっている。コースは、馬路温泉をスタートして日本の里100選に選ばれた相名地区

【9月21日朝日新聞】左端が家内の絹枝。私は家内の真後で見えない。右から3人目が中谷衆議院議員。